

# 1 概況

総合指数は平成22年を100として102.9となり、前年比は2.8%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.7となり、前年比は2.6%の上昇となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は100.5となり、前年比は1.8%の上昇となった。

## 1-1 近年の総合指数の動き

和歌山市の年平均総合指数は、平成10年をピークに平成11年から平成17年まで7年連続で下落となり、平成18年から平成20年までは3年連続で上昇となった。その後、平成21年以降は再び下落傾向となっていたが、平成25年には5年ぶりに上昇に転じることとなった。

平成17年は、灯油価格が大幅に値上がりしたが、家庭用耐久財、教養娯楽用耐久財などが値下がりしたことにより0.5%の下落となった。

平成18年は、引き続き灯油価格の大幅な値上がりや、7月のたばこ税の税率引上げに伴う諸雑費の値上がりなどにより0.3%の上昇に転じた。平成19年は、果物の大幅な値上がりに加え、魚介類や調理食品の値上がりにより0.6%の上昇となった。平成20年は、灯油などエネルギーの大幅な値上がりや、穀類、油脂・調味料、菓子類などの値上がりにより1.7%の上昇となった。

平成21年は、灯油価格が大幅に値下がりしたほか、ガソリン、教養娯楽用耐久財が値下がりしたことにより0.6%の下落に転じた。平成22年は、10月のたばこ税の税率引上げなどに伴い諸雑費が上昇した一方で、4月から的高校授業料無償化の影響による教育の大幅な下落に加え、教養娯楽用耐久財や家庭用耐久財などが下落したことにより0.2%の下落となった。平成23年は、ガソリン、灯油価格は値上がりしたものの、教養娯楽用耐久財の大幅な値下がりや、家庭用耐久財の値下がりにより0.4%の下落となった。平成24年は、ガソリンに加え、電気代、ガス代が値上がりしたものの、引き続き液晶テレビなど教養娯楽用耐久財の大幅な値下がりや、穀類など食料の値下がりにより、0.1%の下落となった。平成25年は、家庭用耐久財や教養娯楽用耐久財が引き続き値下がりしたものの、灯油価格、電気代、ガス代、ガソリンに加え、自動車保険料や乗用車価格の値上がりにより、0.5%の上昇となった。

平成26年は、消費税の税率引上げに伴う電気代、ガス代の値上がりに加え、近年値下がり続けていた家庭用耐久財の値上がりにより2.8%の上昇となった。

図1 和歌山市消費者物価指数と前年比の推移

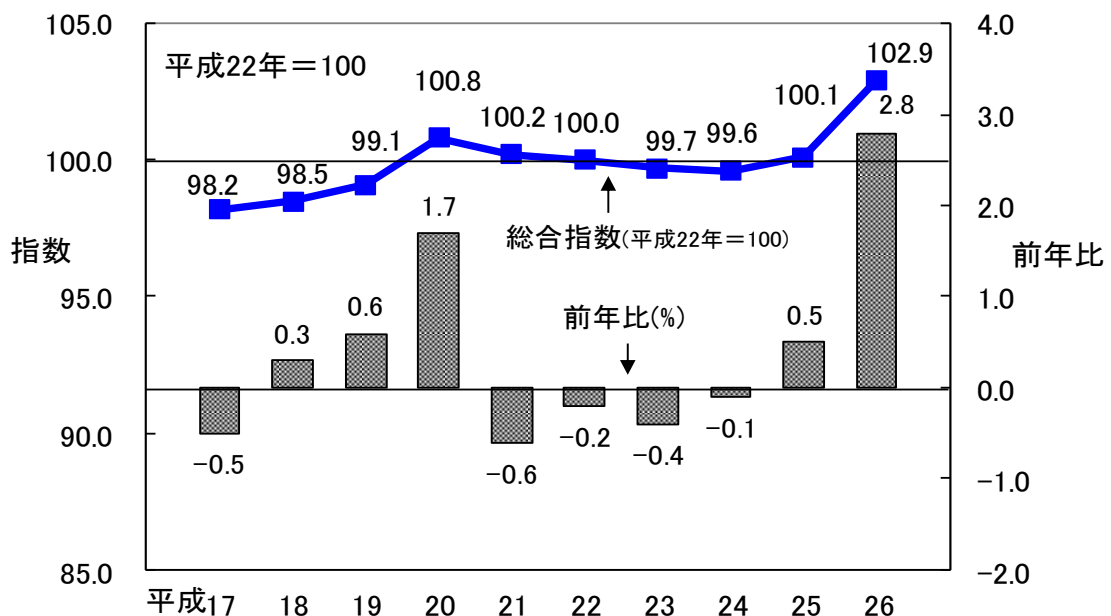


表1 和歌山市消費者物価指数と前年比の推移

年	総合指数 (平成22年=100)	前年比 (%)
平成17平均	98.2	-0.5
18	98.5	0.3
19	99.1	0.6
20	100.8	1.7
21	100.2	-0.6
22	100.0	-0.2
23	99.7	-0.4
24	99.6	-0.1
25	100.1	0.5
26	102.9	2.8

表2 平成26年の主な項目の変化率

項目	前年比 (%)
総合	2.8
生鮮食品を除く総合	2.6
持家の帰属家賃を除く総合	3.4
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	3.3
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	1.8

註) 前年比は各基準年の公表値による。(以下同じ)

図2 総合指数の月別の動き

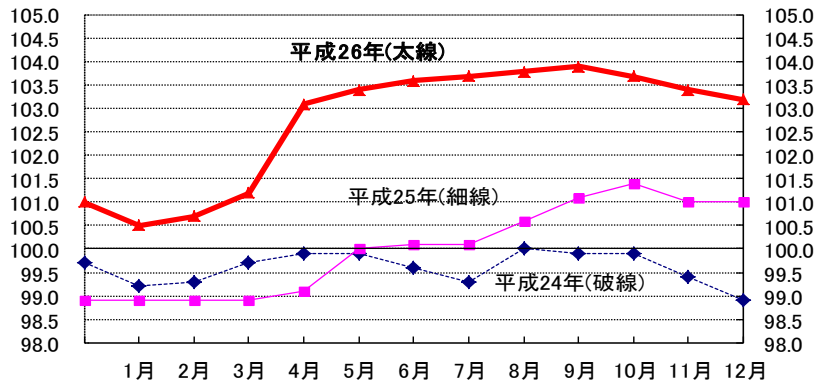


図3 生鮮食品を除く総合指数の月別の動き

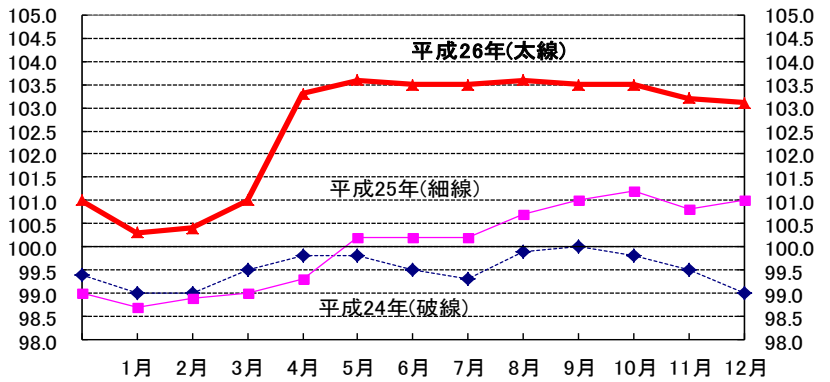
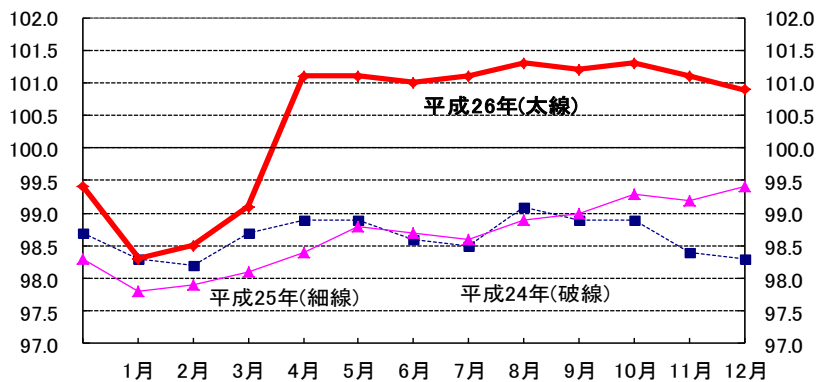


図4 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の月別の動き



## 1-2 10大費目指数の動き

平成26年の10大費目指数の動きを前年比で見ると、上昇したものが9費目、同水準のものが1費目であった。

上昇幅が最大となったのは**光熱・水道**で、7.1%上昇した。ついで、**家具・家事用品**が5.1%、**教養娯楽**が4.0%、**被服及び履物**が3.8%、**食料**と**諸雑費**がいずれも3.2%、**教育**が3.1%、**交通・通信**が2.5%、**保健医療**が0.9%の上昇となった。

10大費目の動きを平成26年総合指数の前年比に対する寄与度で見ると、食料が0.87と上昇に最も大きく寄与しており、ついで光熱・水道、教養娯楽、交通・通信、家具・家事用品、諸雑費、被服及び履物、教育、保健医療の順に上昇に寄与している。

図5 10大費目の前年比

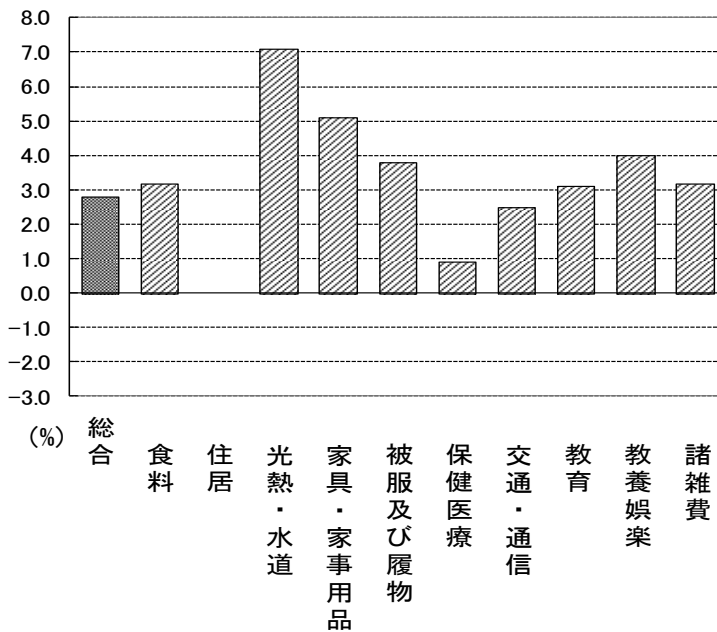


表3 10大費目の前年比及び寄与度

	前年比	寄与度
総合	2.8	2.80
食料	3.2	0.87
住居	0.0	0.00
光熱・水道	7.1	0.50
家具・家事用品	5.1	0.17
被服及び履物	3.8	0.13
保健医療	0.9	0.04
交通・通信	2.5	0.29
教育	3.1	0.07
教養娯楽	4.0	0.47
諸雑費	3.2	0.17

図6 10大費目の寄与度

